

# 岩手県感染症週報

平成25年第49週（12月2日～12月8日）

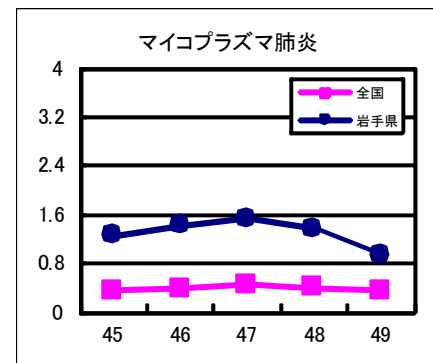
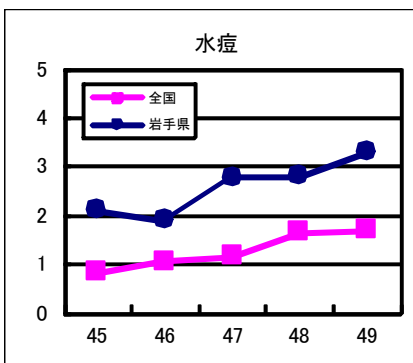
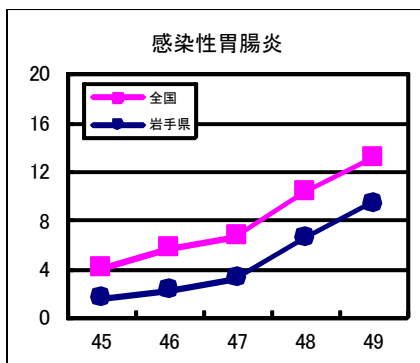
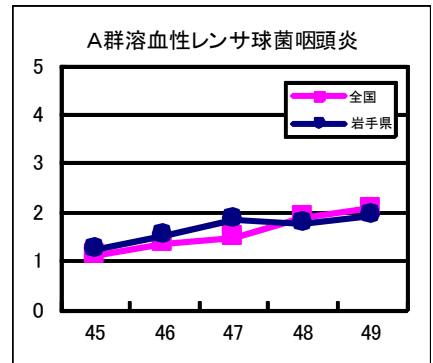
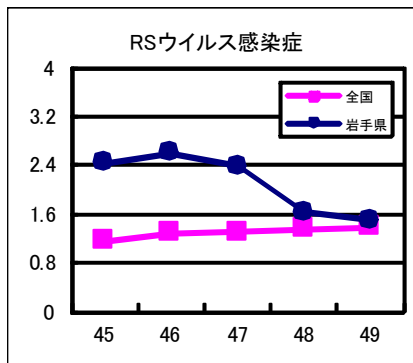
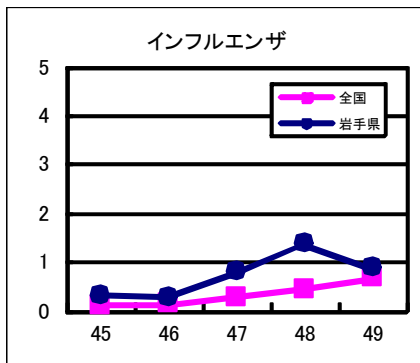
岩手県感染症情報センター

## 第49週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の患者の報告が、5 例（潜在性結核 3 例）ありました。
- 3 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
  - ・ 侵襲性肺炎球菌感染症が、一関地区から 1 例報告がありました。患者は70歳代の男性です。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
  - ・ 感染性胃腸炎は、県全体で定点あたり患者数9.38人と、県内10地区のうち9地区で前週より増加し、そのうち盛岡市、県央、奥州、大船渡、宮古および二戸地区の6地区で定点あたり患者数が10人を超えました。主な原因であるノロウイルスは非常に感染力が強いので、特に保育所等の集団生活を営む場では注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗い、患者の便や吐物の適切な処理が重要です。
  - ・ 水痘（みずぼうそう）は、二戸地区で警報値（定点あたり患者数7人）を、中部および一関地区で注意報値（同4人）を超えています。年齢層別では1～4歳が多く約7割を占めています。
  - ・ インフルエンザは、県全体で定点あたり患者数が0.88人と前週よりやや減少しましたが、先週に患者報告のなかった2地区からも報告があり感染の広がりを見せています。予防には、できるだけ人混みを避ける、帰宅時の手洗い、咳エチケット（咳が出るときはマスクをするなど）などが重要です。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

※第42週より感染性胃腸炎（ロタウイルス）が定点把握対象疾病となりました。

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		45	46	47	48	49		
インフルエンザ	岩手県	0.32	0.27	0.78	1.36	0.88	→	☆
	全国	0.11	0.14	0.27	0.44	0.67		
RSウイルス感染症	岩手県	2.43	2.6	2.38	1.63	1.5	→	☆
	全国	1.16	1.28	1.3	1.35	1.39		
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0.23	0.15	0.23	0.35	→	☆
	全国	0.33	0.42	0.46	0.57	0.66		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.25	1.53	1.85	1.78	1.93	→	☆
	全国	1.11	1.36	1.49	1.9	2.08		
感染性胃腸炎	岩手県	1.6	2.28	3.23	6.53	9.38	↗	☆
	全国	4.11	5.74	6.72	10.33	13.11	↗	
水痘	岩手県	2.1	1.9	2.78	2.8	3.28	↗	☆☆
	全国	0.84	1.05	1.15	1.64	1.69		
手足口病	岩手県	0.9	0.38	0.25	0.08	0.18	→	☆
	全国	0.79	0.68	0.64	0.59	0.47		
伝染性紅斑	岩手県	0.05	0.03	0.1	0.08	0.08	→	
	全国	0.05	0.06	0.06	0.07	0.08		
突発性発疹	岩手県	0.45	0.45	0.48	0.43	0.48	→	☆
	全国	0.49	0.55	0.49	0.56	0.53		
百日咳	岩手県	0	0	0.03	0	0.03	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.08	0.05	0	0.05	0.03	→	
	全国	0.1	0.08	0.07	0.06	0.05		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.23	0.83	0.48	0.43	0.48	→	☆
	全国	0.21	0.25	0.22	0.28	0.29		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0.07	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.29	0.21	0.5	0.79	0.5	→	☆
	全国	0.43	0.56	0.61	0.58	0.56		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.03	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.05	0	0	0	0.05	→	
	全国	0.04	0.05	0.04	0.03	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.26	1.42	1.53	1.37	0.95	↘	☆
	全国	0.35	0.39	0.45	0.4	0.36		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.04	0.03	0.03	0.02		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	岩手県	0	0	0.05	0	0.05	→	
	全国	0.02	0.01	0.03	0.05	0.04		
インフルエンザ（入院患者） ※報告数であることに注意	岩手県	1	1	2	6	1		
	全国	6	8	20				

【流行傾向の見方】

無印：ほとんど患者が発生していません

☆：患者が発生しています

☆☆：警報値を超えた地区が1～2地区あります

☆☆☆：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

※重症熱性血小板減少症候群（SFTS）が  
10週より対象疾患になりました。

（患者発生数）

	疾病名	(週) 岩手県					全国	
		45	46	47	48	49	累計	累計
一 類 感 染 症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0
二 類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	1
	結核（ ）内は潜在性結核感染症患者数	6 (1)	6 (3)	7 (5)	7 (3)	5 (3)	222 (76)	351 24921
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1）	0	0	0	0	0	0	0
三 類	コレラ	0	0	0	0	0	0	4
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	136
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	1	0	100	31 3831
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	64
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	46
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	111
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	119
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	17
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	8
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	1
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	5
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	4
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	0	0	0	0	0	0	1 44
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	13
	つつが虫病	1	0	0	0	0	7	22 280
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1 233
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9を除く）	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	3 164
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	8
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	2
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	46
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	19
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	4
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	13	13 1065
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	1	0 28
	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0

全数把握対象疾患（続き）（過去5週の動き）

（患者発生数）

※侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症が第14週より、鳥インフルエンザ（H7N9）が第19週より届出対象疾患となりました。

分類	疾病名	（週）					岩手県		全国	
		45	46	47	48	49	累計	49	累計	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	3	10	979	
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	4	268	
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	3	6	332	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	18	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	2	195	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	2	193	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	14	1423	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	78	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	1	2	98	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	18	
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	1	3	34	857	
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	2	28	
	梅毒	0	0	0	0	0	2	16	1148	
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	122	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	51	
	風しん	0	0	0	0	0	8	8	14304	
	麻しん	0	0	0	0	0	0	1	216	
指定	鳥インフルエンザ（H7N9）	0	0	0	0	0	0	0	0	

今注目の感染症

細菌性髄膜炎

細菌性髄膜炎は、細菌感染による髄膜炎の総称です。発熱、頭痛、嘔吐を主な特徴とし、項部硬直、Kernig徴候、Brudzinski徴候などの髄膜刺激症状が見られることがありますが、新生児や乳児などではこれらの臨床症状が明らかではないことが多い。一般的に全体症状はきわめて不良で、迅速に有効な治療が施されないと致命的となります。

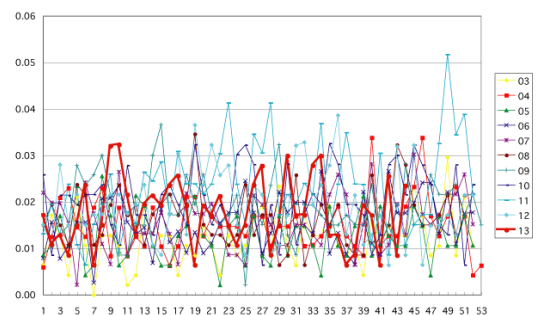
病原体は、インフルエンザ菌、肺炎球菌、B群レンサ球菌、大腸菌、リステリア菌、黄色ブドウ球菌、表皮ブドウ球菌、髄膜炎菌など多種類ありますが、年齢や基礎疾患によって原因菌に特徴があります。流行は特になく、季節性も見られません（グラフ1）。

感染経路は多くの場合飛沫感染であり、原因菌が上気道あるいは呼吸器感染病巣を経由して侵入し、血行性に髄膜に到達します。新生児のB群レンサ球菌感染症の場合には、産道感染も考えられています。その他に、リステリア菌が腸管から侵入したり、粘膜や皮膚に付着している黄色ブドウ球菌や表皮ブドウ球菌が、カテーテルを介して血行性に髄膜に到達することもあります。

予防としては、感染者からの伝播を避けることです。また、限られています原因菌に対するワクチン接種が有効です。今年4月から、インフルエンザ菌b型菌（Hib）に対するHibワクチンや、小児用肺炎球菌ワクチンが、定期予防接種となりました。

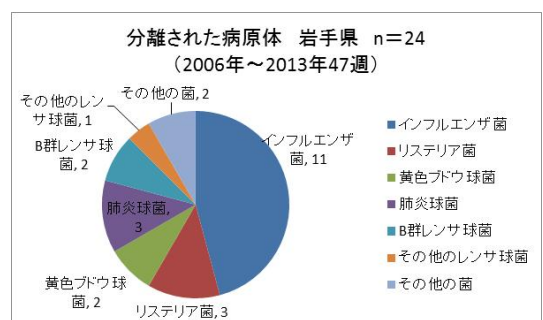
岩手県内で2006年から2013年の47週までに報告された件数は34件で、そのうち24件について病原体が分離同定されています。内訳はグラフ2のとおりです。

グラフ1  
過去10年間の細菌性髄膜炎（定点あたり患者数）  
全国（2003～2013年）



国立感染症研究所 感染症疫学センター

グラフ2



## 今注目の感染症（つづき）

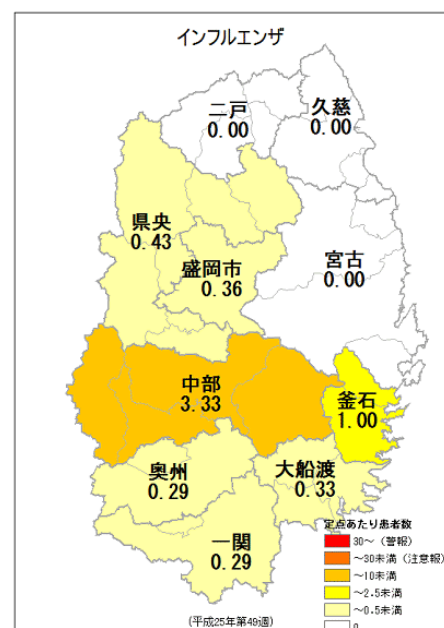
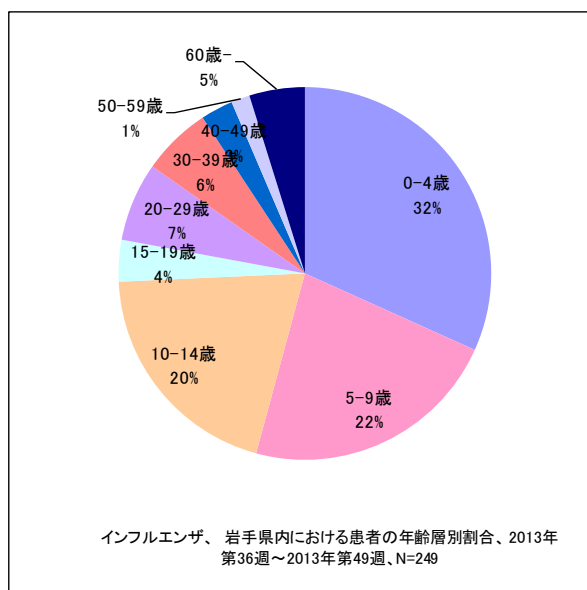
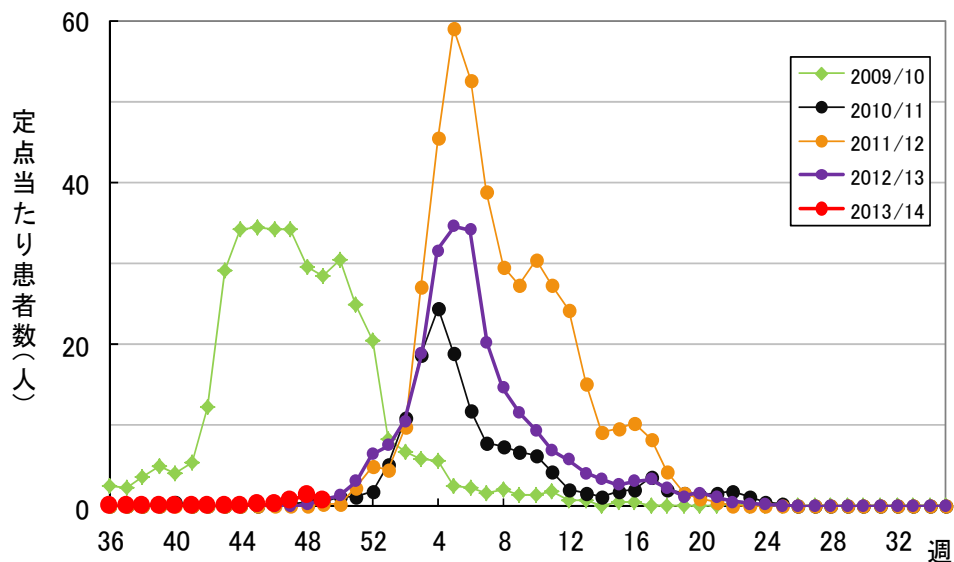
### インフルエンザ

インフルエンザは、第48週で県全体で定点あたり患者数1.36となり、流行の開始の指標である1.0人を超え、今年もインフルエンザの流行シーズンに入りました。第49週は、0.88人とやや減少しましたが、前週に患者報告のなかった奥州および大船渡地区からも報告があり感染の広がりをみせています。

予防には、なるべく人混みを避ける、ワクチン接種、帰宅時の手洗い、咳エチケット（咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、咳が出るときはマスクをする、手のひらで咳やくしゃみを受けた時はすぐに手を洗うなど）、十分な休養と栄養をとることなどが重要です。ワクチンは接種後2週間で効果が現れることから、流行拡大前の早めの接種が勧められます。

県環境保健研究センターで実施しているウイルス検査では、A香港型ウイルスが検出されています。

インフルエンザ、岩手県(2009/10-2013/14)



## 今注目の感染症 (つづき)

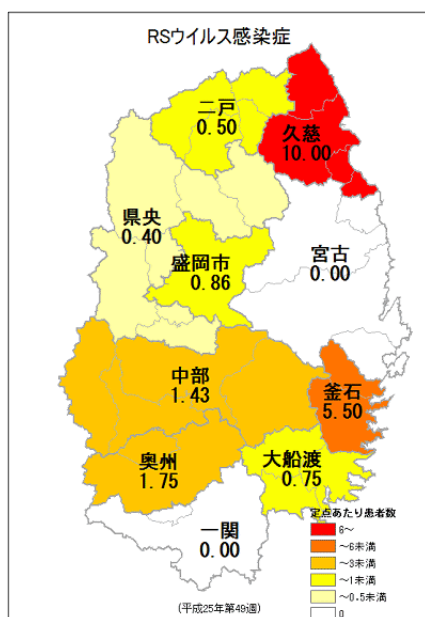
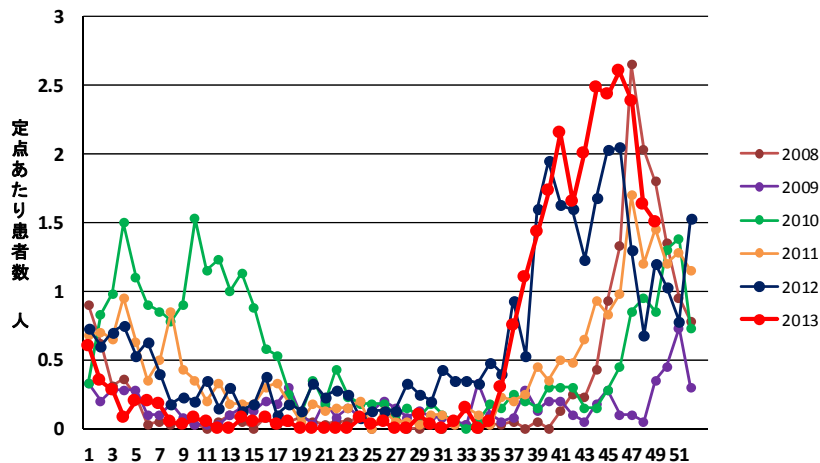
### RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、RSウイルス(respiratory syncytial virus)の感染によって発症する呼吸器感染症です。終生免疫は獲得されず、年齢を問わず生涯にわたり顕性感染を繰り返す。生後1歳までに半数以上の児が、2歳までにほぼ100%の児が初感染を受けるとされています。特に、生後数週間～数ヶ月間の時期においては、母体からの移行抗体があるにもかかわらず、肺炎や細気管支炎など重症化する場合があります。無呼吸、ADH分泌異常症候群、急性脳炎なども注意すべき合併症です。

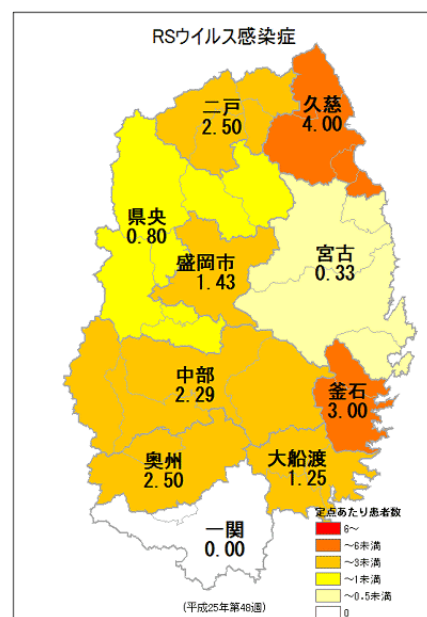
例年、冬期に発生のピークが見られていますが、昨年は7月頃から増加傾向がみられ、9月下旬と11月初旬に2つのピークがありました。今年は9月中旬より急増しました。第46週をピークに3週連続して減少していますが、釜石および久慈地区では増加しており、注意が必要です。

RSウイルス感染症に関するQ&A [http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html)

RSウイルス感染症週別患者報告数岩手県(2009～2013)



第49週



第48週



## 病原体検出情報

- ・この週に病原体検出情報はありません。

## 集団感染情報

### ○感染性胃腸炎の集団発生について

盛岡市内の保育園（園児108名、職員24名）

- ・12月1日（日）から12月9日（月）にかけ、29名（園児25名、職員4名）に症状（嘔吐、下痢、発熱等）
- ・有症者10名中10名（園児8名、職員2名）からノロウイルスを確認

盛岡市内の保育園（園児75名、職員20名）

- ・12月2日（月）から12月11日（水）にかけ、18名（園児18名）に症状（嘔吐、下痢、腹痛等）
- ・有症者6名中5名（園児5名）からノロウイルスを確認

### ○インフルエンザによる学校等の休業措置について（12月5日～12月12日発表分）

- ・岩手県 花巻市内の幼稚園 1件
- ・盛岡市からの発表はありません。

詳細は、岩手県医療政策室のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4104&ik=1>

## 医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

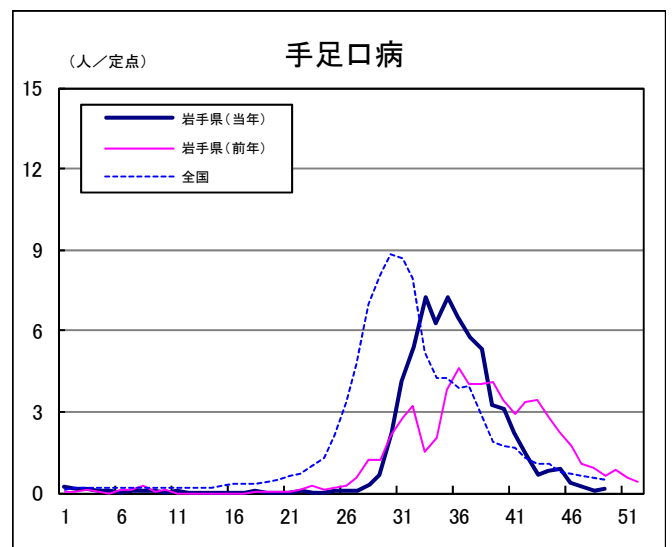
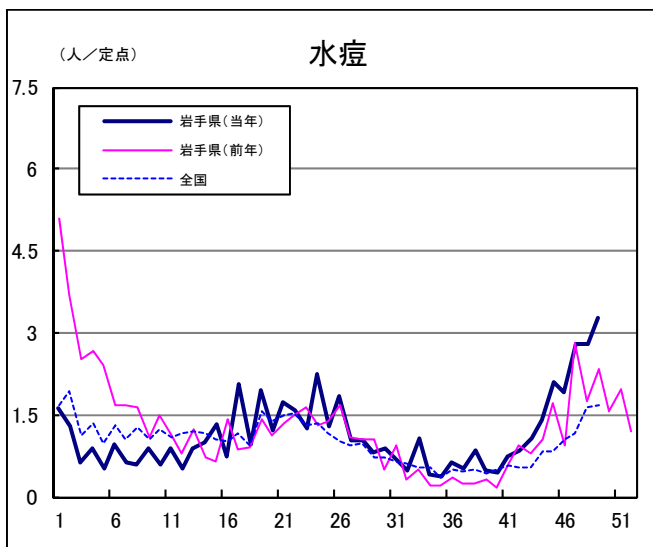
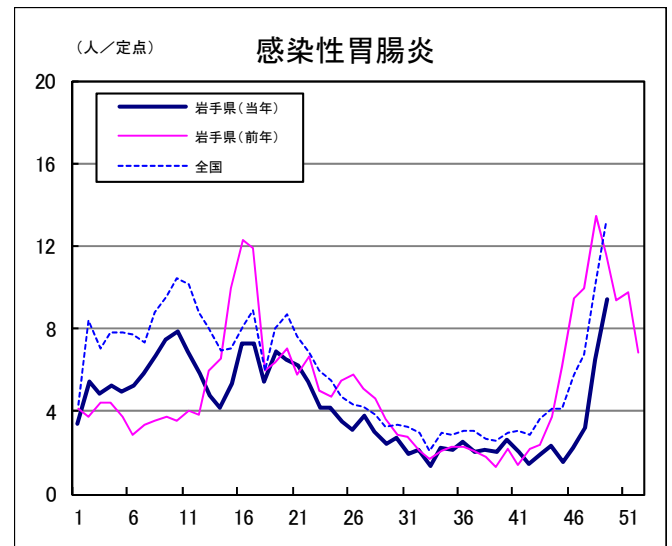
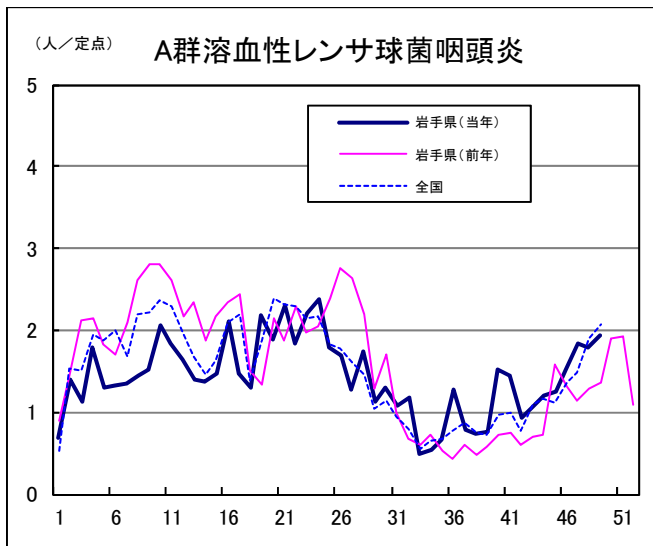
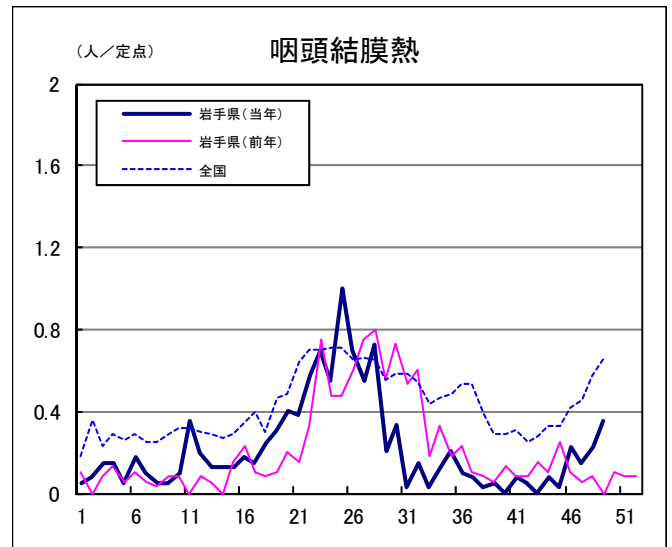
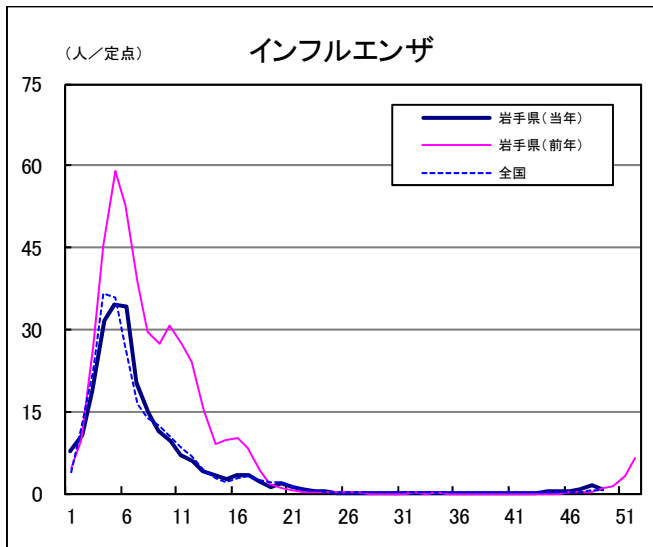
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）

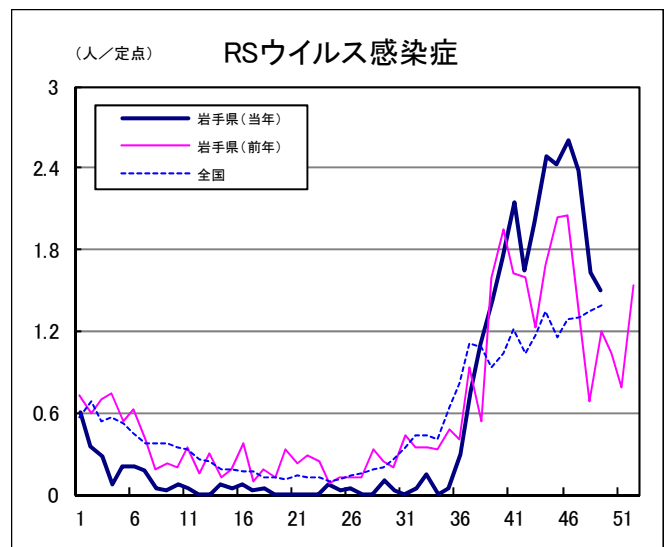
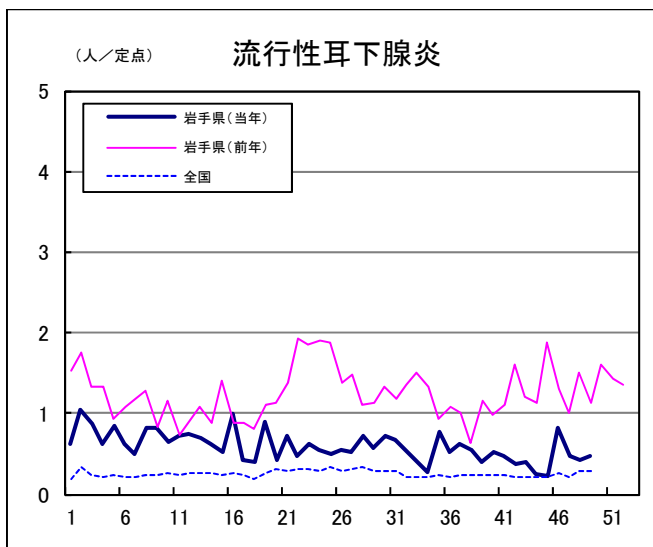
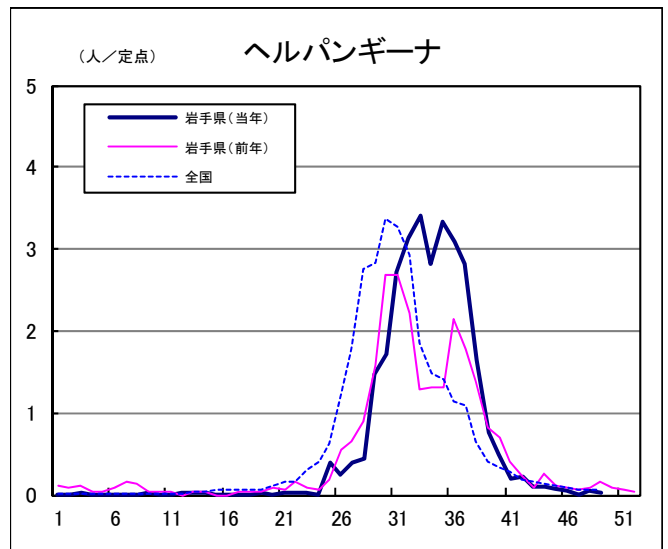
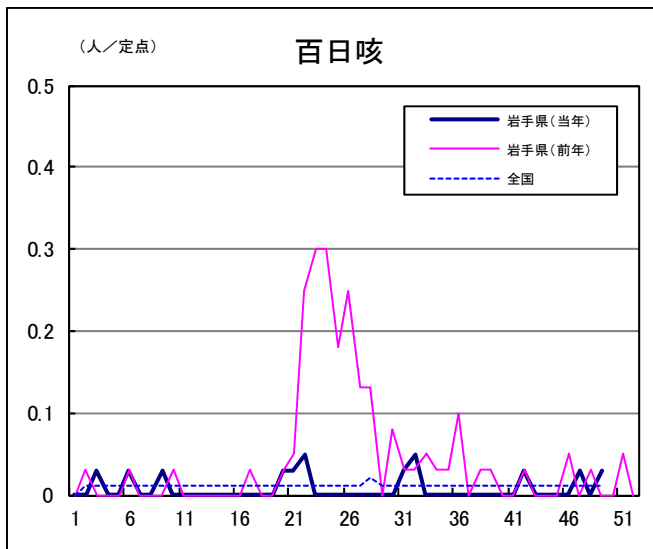
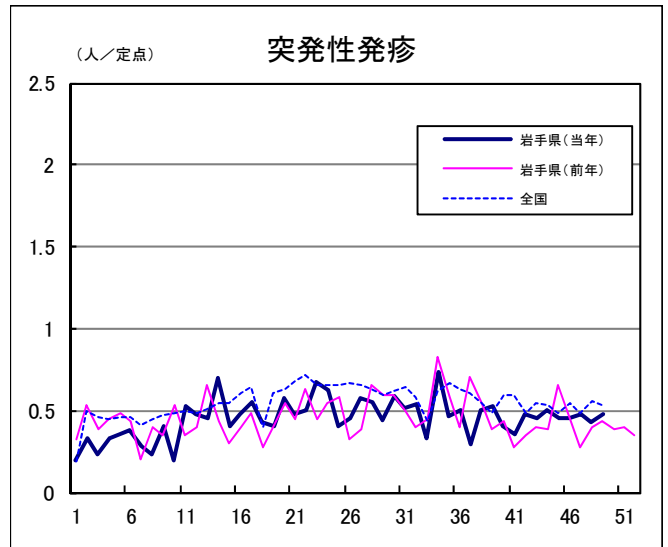
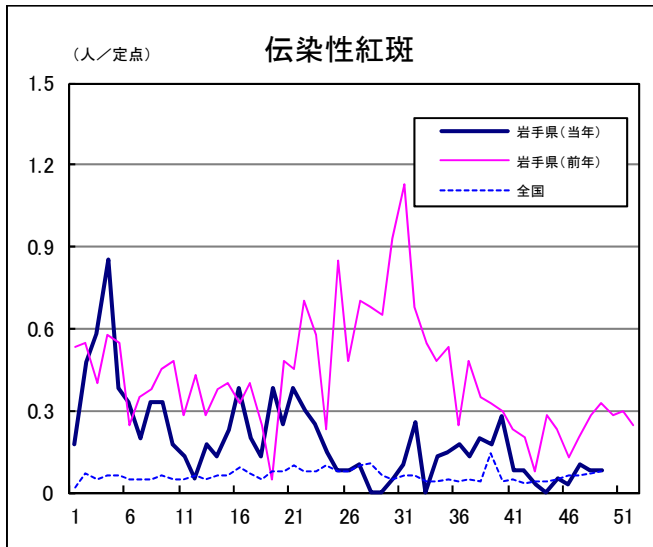
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

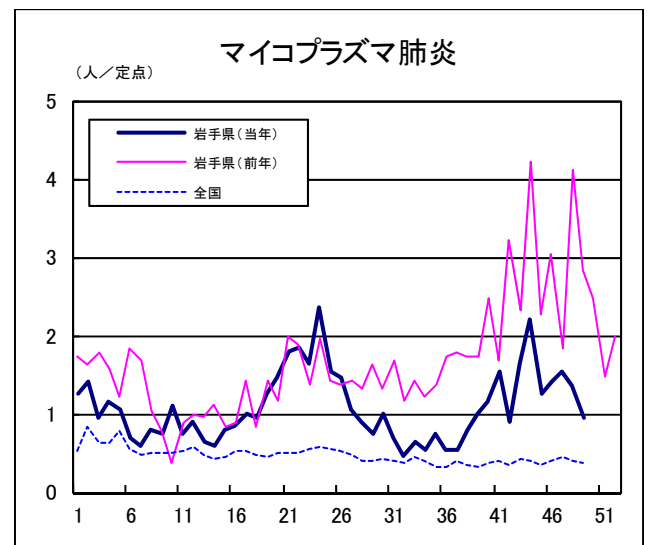
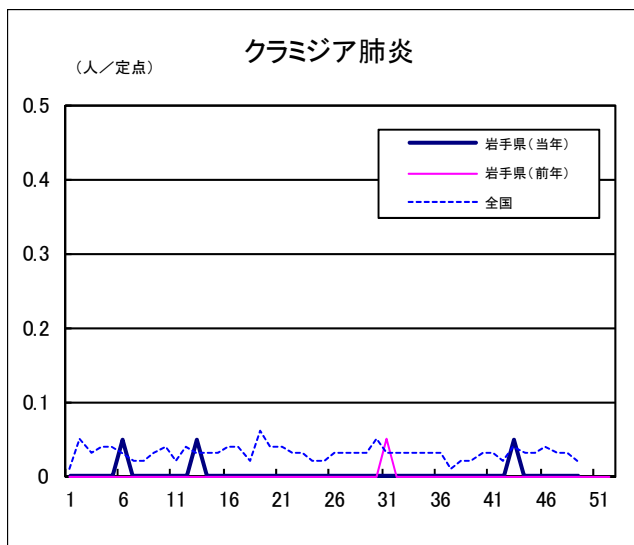
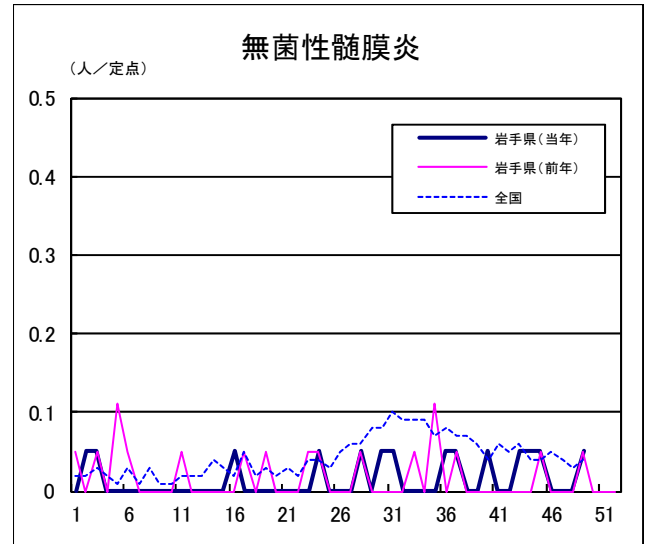
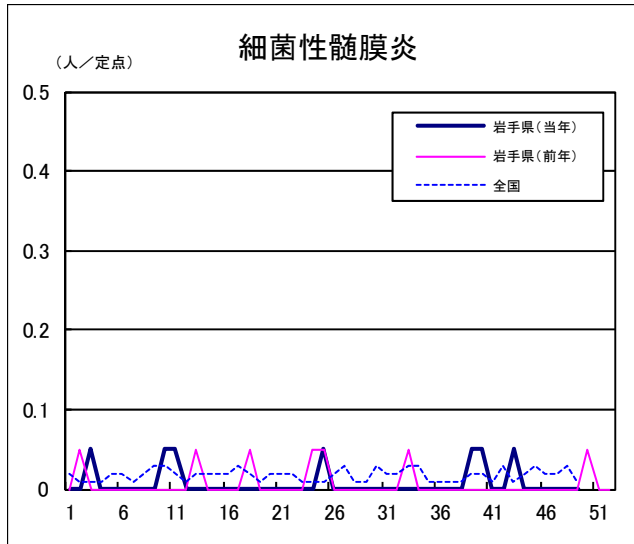
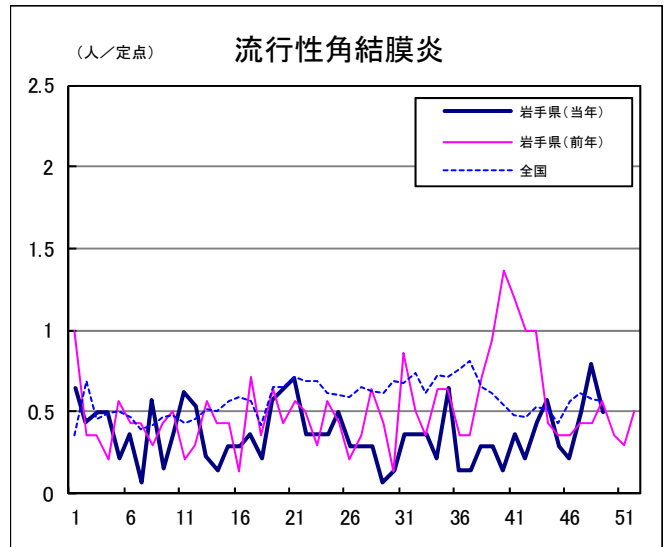
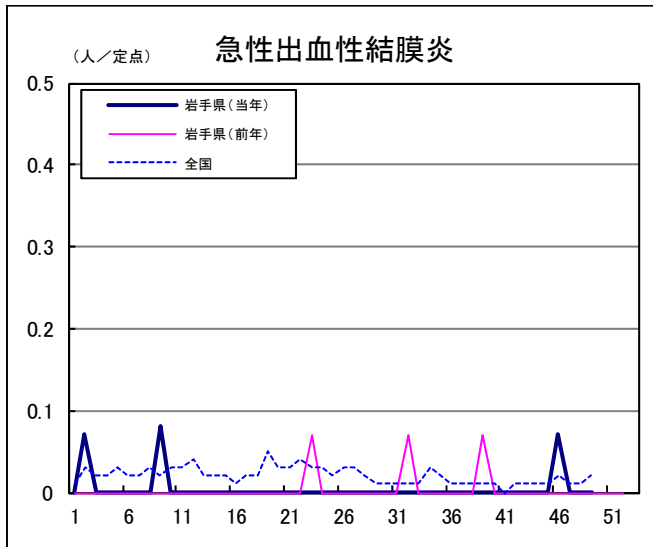
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成25年第49週 平成25年12月13日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療政策室>